

地域で



見守り

妹背牛町では今年度よりコミュニティ・スクールを導入しています。この制度が生まれた社会の背景、本町の取り組みや今後の展開などを紹介します。



地域で



育てる

コミュニティ・スクールとは

妹背牛町の

コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクール^{※1}とは地域一体となって子どもたちを育むために設置される制度です。基本的には学校と地域住民の関係が希薄になりやすい大都市向けに設置を促していたものであり、妹背牛町ではすでに民生児童委員や社会福祉協議会と連携し、コミュニティ・スクールの目的に準じた活動が行われてきていました。妹背牛町教育委員会では、この活動をコミュニティ・スクールに組み込むことによりこれまで以上に学校が地域と連携をとれるようになることを考えています。

学校運営協議会の設置

コミュニティ・スクールでは制度の核となる「学校運営協議会」を設置します。委員は小中学校のPTA会長、社会福祉協議会会長、民生児童委員協議会会長など。学校の基本運営方針を承認したり、学校運営に

教育課長 浦本 雅之



意見をしたりすることができます。さらに、「地域連携部会」、「学校評価部会」の二つに分け、地域連携部会では子どもたちの登下校の見守りや行事などへの支援、学校評価部会では今も行っている学校評価を継続して行います。

CSスクール・サポーター

学校運営協議会では、学校にご協力いただける方や団体を「CSスクール・サポーター」^{※2}に登録し、学校で行われる行事、活動に協力依頼をしたいと考えております。今まで学校の行事などに協力いただいていた団体に登録をお願いし協力関係

※1 学校運営協議会を設置した学校のことをコミュニティ・スクールといいます。2017年度より導入が努力義務とされました。
※2 「CS」は「コミュニティ・スクール」の略です。

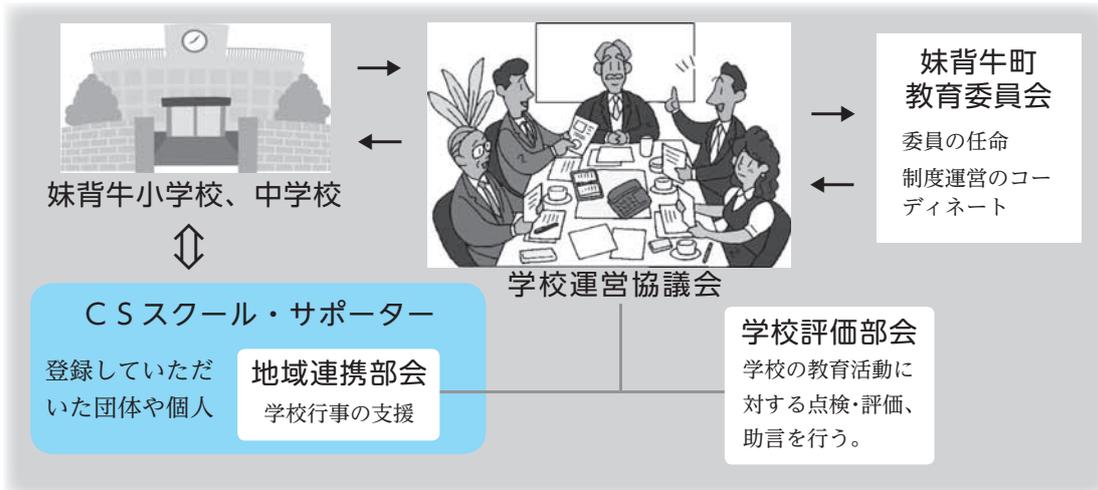
を深めながら、新たな「学校の応援団」も増やしていきたいと考えています。

今までは保護者やPTAだけが学校行事に関わっていましたが、これからは地域の皆さんが学校や子どもたちに関心を持ってもらいたいと思っています。たとえ自分の子どもがいなくても学校祭、運動会などの行事に来たり、登下校中の子どもたちを気かけたりしていただけるようになることを理想としています。

「町民みんなで子どもたちを見守り、育てていく環境づくり」これが妹背牛町でコミュニティ・スクールを設置する大きな目的です。



第1回学校運営協議会の様子



妹背牛町コミュニティ・スクール
運営の流れ

学校の応援団になりませんか？

学校運営協議会では「CSスクール・サポーター」へご登録いただいた方に学校の活動の支援をお願いしています。ここでは具体的な3つの例を紹介します。支援いただける方は是非、登録をよろしくお願いします。

民生児童委員見守り活動

朝、子どもたちの通学路となる目抜き通りを見回る活動です。民生児童委員の皆さんに行っていただいています。



しめ縄づくり

郷土妹背牛祭のしめ縄づくりでは、昔の文化をよく知っている方に指導をお願いし、世代間交流のひとつにもなっています。



学習の支援

妹背牛町では家庭科の授業や、農業体験などを経験豊富な地域の方々に教えていただくことも考えています。

